# 東海市

# 市勢ミニガイド

Tokai City Mini Guide

**市　章**

これは東海市の「とう」をデザイン化したもので、市民がひとつに団結し、市の発展を表現したものです。

〔昭和44年（1969年）4月1日制定〕

**市の花**

**さつき**

常緑の花木で栽培しやすく、さし木で簡単に増やすことができ、市内に愛好者も多く、その栽培も盛んで毎年展示会も開催されており、市の花としてふさわしいものです。

〔昭和45年（1970年）11月3日選定〕

**洋ラン**

東海市で栽培される洋ランは、シンビジウムを始めデンドロビウムやコチョウランなど花の種類が豊富。全国有数の出荷量を誇っており、東海市を代表する花です。

〔平成21年（2009年）4月1日選定〕

**市の木**

**くすのき**

暖地に生育し、樹全体に芳香を有する常緑の高木で、市内には天然記念物に指定された名木もあり、生育旺盛で寿命も長く、発展する東海市を象徴するにふさわしい木です。

〔昭和45年（1970年）11月3日選定〕

## ― ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい ―

本市は、昭和44年(1969年)4月1日に上野町と横須賀町が合併し、誕生しました。

市制施行以来、県内でも有数の生産量を誇る洋ランをはじめ、全国有数のフキの産地として、また、中部圏最大の鉄鋼基地として、農業や商業、工業がバランスよく発展してきました。

また、名古屋港や中部国際空港へのアクセスにも優れ、伊勢湾岸自動車道や名古屋高速と接続しているなど、本市は陸・海・空の中部圏広域交通の要衝となっており、立地特性を生かした都市基盤の整備やにぎわいづくり、子育て支援、健康づくりなどの取り組みにより、多くの人々が暮らしやすさと本市の魅力を実感できるまちづくりを進めています。

未来に向けて、ふるさと東海市をだれもが誇れるまちに発展させるため、「市民との協働・共創によるまちづくり」の理念のもと、市民や地域、団体など多様な主体によって「つながり」の輪を広げ、「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」を目指していきます。

## 特　産

東海市では都市近郊の立地特性を生かした
洋ラン、フキなどの施設園芸が盛んに行われています。

### ■洋ラン

優雅で気品ただよう姿、「情熱」「洗練」「陽気」という花言葉を持つ洋ランは、花の女王、植物の宝石とも呼ばれています。洋ラン（鉢物）の出荷量全国一を誇る愛知県の中でも、東海市は有数の産地として知られています。種類も豊富で、シンビジウム、デンドロビウム、コチョウランなど多くのランが栽培されています。

### ■フキ

早春の味覚として、古くから親しまれている野菜で、東海市は全国有数の産地になっています。株冷栽培を取り入れてから出荷時期も10月から５月と幅広くなり、品質のよいフキとして知られています。

### ■鉄鋼

工業の中心は製鉄で、高度経済成長期に造成された臨海部の工業用地には、日本製鉄(株)、愛知製鋼(株)、大同特殊鋼(株)などの工場が建ち並び、中部圏最大の鉄鋼基地が形成されています。

## 姉妹都市

本市では、人的交流を基本とした
都市間交流を推進しています。

上杉雪灯篭まつり

### ■山形県米沢市

〔平成12年（2000年）10月20日提携〕

釜石まつり・曳き船

### ■岩手県釜石市

〔平成19年（2007年）3月24日提携〕

ニルフェル区に建設された日本庭園と茶室

### ■トルコ共和国 ブルサ市ニルフェル区

〔平成19年（2007年）5月10日提携〕

沖縄全島エイサーまつり

### ■沖縄県沖縄市

〔平成21年（2009年）11月20日提携〕

ハンギングロック

### ■オーストラリア マセドンレンジズ市

〔平成26年（2014年）10月16日提携〕

市ホームページ

市公式LINE

市勢ミニガイドのPDFはこちら

●発行／愛知県東海市　●発行日／令和7年（2025年）7月

## 歴史・文化

東海市には原始～中世にかけての遺跡が多くあり、はるか昔から人々の暮らしと文化が息づいてきたことがわかります。
諏訪神社境内の歌碑には、万葉集に収められている歌が刻まれており、知多の浦を舟が進んでいる、のどかな千数百年前を思い起こさせます。また、伊勢物語の主人公ともいわれる歌人・在原業平にまつわる伝説なども残されています。
このように、数々のドラマを生んだ東海市には現在、国指定2、県指定2、市指定72件、国登録4件を始めとする数多くの貴重な文化財があり、歴史散策にも最適な地と言えます。

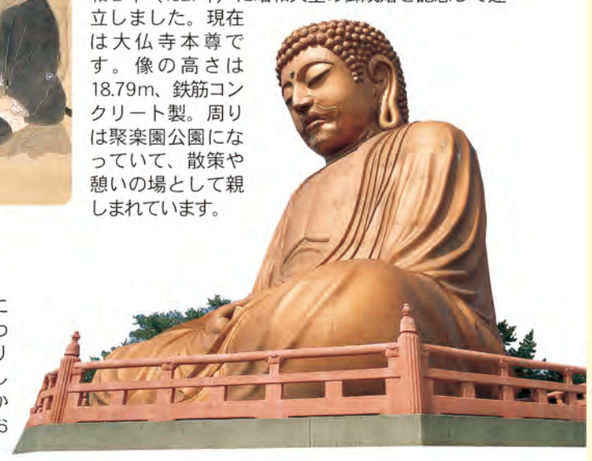
### ■細井平洲

江戸時代の学者の一人として尊敬され、政治や教育事業の指導者として時代に大きな影響を与えた人物です。享保13年（1728年）に平島村（現在の東海市荒尾町）で生まれ、京都、長崎で学問を学び、江戸へ出て嚶鳴館という塾を開きました。武士だけでなく、町民や農民にもわかりやすく学問を広め、また、西条、人吉などの各藩に迎えられました。特に藩財政の危機を救い、名君とうたわれた米沢(山形県)の藩主上杉鷹山の師となり、生涯を通じて師弟の交わりを持ちました。市内には平洲記念館を始め、ゆかりの地が残されています。

### ■聚楽園大仏

（市指定文化財〔建造物・名勝〕）

柔和な顔立ち、全体に流れる曲線美、どっしりと落ち着いた聚楽園大仏。名古屋の実業家山田才吉が昭和２年（1927年）に昭和天皇の御成婚を記念して建立しました。現在は大仏寺本尊です。像の高さは18.79m、鉄筋コンクリート製。周りは聚楽園公園になっていて、散策や憩いの場として親しまれています。



### ■松崎遺跡（市指定史跡）

松崎遺跡は古墳時代から平安時代にかけて600年もの間、塩づくりが行われた遺跡です。このころの塩づくりには製塩土器という特徴的な形をした土器が使われました。松崎遺跡からは特に多くの土器が見つかっており、知多半島を代表する遺跡です。

### ■東海市の山車と山車まつり（市指定有形民俗文化財・市指定無形民俗文化財）

現在、市内には横須賀町に５輌、大田町に４輌の山車があり、市の指定文化財に指定されています。これらの山車は、すべて江戸時代後期につくられ、精巧な彫刻や装飾が施されています。それぞれの山車を飾る「からくり人形」は、当時の技術の粋を尽くしてつくられており、江戸時代の技術を現代に伝えるものとして貴重です。横須賀町の山車は尾張横須賀まつり（毎年９月第４日曜日とその前日）に、大田町の山車は大田まつり（毎年10月第１日曜日とその前日）にそれぞれ各町内をお囃子とともに曳き回されます。

### ■「御殿万歳」（市指定無形民俗文化財）

「陰陽。鶴は千年、亀は万年…」と名調子で始まる御殿万歳。「尾張万歳」と「三河万歳」の２つの流れをくんでいます。家をつくったところへ七福神が舞込むというめでたい内容で、烏帽子に大紋を着た太夫に左右３人の鼓を持った才蔵を配し、「エヘ、オホ、エヘ、オホ」などこっけいなせりふやおどけたしぐさで観客を笑わせます。

## 四季のイベント

**4月**

**●桜まつり**

大池公園の散策道に植えられたソメイヨシノがピンクの花のトンネルを演出。夜間のライトアップも見どころです。

**5月**

**●平洲祭**

郷土の偉人・細井平洲先生の遺徳をしのぶため、5月29日に開催される記念行事です。姉妹都市・米沢市からも多くの方が参加します。

**6月**

**●花しょうぶまつり**

大池公園花しょうぶ園の花しょうぶが、白や紫、紅紫の花を咲かせ、訪れた人を楽しませてくれます。

**7月**

**●沖縄フェスティバル**

太田川駅前の大屋根広場で、本場沖縄市青年会によるエイサーや民謡、沖縄グルメなど、姉妹都市である沖縄市の魅力が体感できます。

**8月**

**●東海まつり 花火大会**

本市の夏の風物詩である東海まつり花火大会。パッと輝く光の花が、真夏の夜空を彩ります。

**9月**

**●尾張横須賀まつり**
**●大田まつり**

市の指定文化財である山車を回転させる「どんてん」「どんでん」はまさに圧巻。若衆の掛け声で山車が持ち上がり回転するとまつりの興奮は最高潮に。本市に秋を告げるおまつりです。

**10月**

**11月**

**●東海秋まつり**

産業まつり、農業フェスティバル、文化祭などが一つになった秋の一大イベントです。

**●もみじまつり**

聚楽園公園のイロハモミジ・ヤマモミジが晩秋を華やかに彩ります。
夜間はライトアップもあります。

**12月**

**●ウィンターイルミネーション**

太田川駅前を、色とりどりのイルミネーションで飾り、幻想的な夜を演出します。

**●東海ハーフマラソン**

県内外からランナーが集まり、東海市を軽やかに走り抜けます。

**1月**

**●東海フラワーショウ**

東海市の花と緑が一堂に会するフラワーショウ。展示コーナーのほか、洋ランなどの即売会なども。

**2月**

**●子ども芸能発表会**

子どもたちが、学校や地域で練習している文化活動、伝統芸能の日頃の成果を発表します。琴、和太鼓、ダンスなど盛りだくさんです。

**3月**

**●梅の花が見頃に**

大池公園には冬至梅・緋梅などが植えられた梅林があり、2月下旬頃から花開き、春の訪れを教えてくれます。